

静岡市監査委員会議記録

会 議 令和4年度 第3回 監査委員臨時協議会

開催日時 令和4年10月13日(木) 午前9時02分～9時15分

出席者 監査委員 遠藤 正方、白鳥三和子、福地 健、大石 直樹
事務局長 萩原 健
書記 杉田 陽子
白鳥 浩司、山田 裕
宇佐美亜希、齋藤 升美
新海 拓也、山本 和延

会議内容

1 開会宣言 杉田次長

2 協議会議事

(1) 協議事項

ア 協第26号 令和4年度静岡市年間監査計画の変更等について

(ア) 説明者

白鳥次長補佐

(イ) 要旨

議案集により説明

(ウ) 発言等

(遠藤代表)

今回、監査対象から外すこととなった所属は、台風15号関係の業務に注力していたただかなければならない所属であり、規模の縮小はやむを得ないが、昨年度に新型コロナウイルス関連業務を担う所属を除外した際には、令和4年度以降の3年度間で平準化していくという説明があった。2年連続で規模を縮小したが、今後、このままほかに何事もなければ、令和5年度以降の3年度間で平準化していくということでよいか。

(事務局)

そのとおりである。

(大石委員)

平成26年にも災害があったが、その時もこのような対応をしていたのか。

(事務局)

平成26年に、監査の計画を変更したという記録はない。発生した時期や対象課の業務量の増加等の状況が今回と異なっていたと思われる。

(福地委員)

今日の新聞に仮設住宅の話が出ていたが、住宅政策課は延期しなくてもよいのか。

(事務局)

今の時点では、庁内各課に対する影響を完全には把握しきれていないので、今後、住宅政策課の状況を把握し、必要を認めれば、同課を監査対象から除外することも検討する。

(遠藤代表)

災害対応は、時期に応じて求められる業務が変わるため、当初想定していない所属の業務量が増加することもある。定期監査は法に則って行うものではあるが、災害対応に注力してもらう必要のある所属については必要に応じて監査対象から除外する必要があるので、的確な状況把握をお願いしたい。

(エ) 結果

遠藤代表監査委員から承認の可否について諮ったところ、全員一致で承認された。

3 閉会宣言 杉田次長